

# 教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)  
予約購読料 1年分 5,000円  
紙代のみ 3,500円  
振替 00140-9-145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
発行人 内藤留幸  
編集主筆 竹澤知代志  
印刷所 株式会社きかんし



前列中央、雲然真理子牧師(左)、俊美牧師(右)



奥羽

## 過疎高齢化が激しい 秋田県での開拓伝道

### 秋田桜教会・下浜教会

## 教団の課題の深奥には、地方の問題が

### 秋田桜教会の誕生

「自立した教会の使命は教会を生み出すことである。秋田市の中心部にある秋田桜教会(1888年創立)の開拓伝道への幻によって、秋田桜教会は生み出された。1983年、伝道に着手し、秋田駅東側、新興住宅地である桜市に家を借り、秋田桜教会所が開設される。開拓伝道専任の牧師として、雲然俊美、真理子両牧師が赴任し、全力を投じる。土地を購入し、秋田桜教会の会員115名の内、17名が桜市の集会に移ることを決意。1988年、秋田桜教会百周年事業として、会堂を建て、伝道所が開設された。その後、受洗者および転入会者

の流れは、地方から都市へと向かって行く。その勢いは近年顕著になっている。若者は上京し、教会を訪れる子どもの数も年々減少している。秋田駅から教会まで、雪が積もる道を歩いてみた。車は数台走っているものの、人とすれ違うことはほとんどない。人口が増加している都市部の教会と同じように教勢が伸びることは困難、それどころか、現状維持も大変である。

秋田桜教会をはじめ、秋田市内の教会はまだ良いが、市外の教会が置かれている状況は更に厳しい。俊美牧師が兼牧する下浜教会を訪れた。秋田の市街地から車で40分程の農村地帯にある。農村伝道の幻によっ

き、多くの子どもたちが集められた。70名近い子どもが集まった時もあったという。また、パイオルカンを導入し、コンサートを通して地域の伝道を展開している。現在は、現任陪餐会員42名の群れとなっている。礼拝出席は、朝夕の礼拝を合わせ30名程である。

### 献身の思いを与えられた時

教団書記に選ばれた主任担任教師、雲然俊美牧師について触れたい。秋田で生まれ育ち、大学進学の際に故郷を離れ、茨城で学生生活を送った。世間的に探究しよう、社会学を学んだ。紛争の余韻が残る時代、統一原理の集会にも顔を出したことがあった。秋田に戻り就職する中、聖書を用いている新興宗教に関わっ

### 地方教会の現実と課題

て建てられ、会員17名で始まった教会だが、現在は、教員8名、礼拝出席4名程である。牧師を呼ぶ体力はないが、かつては、牧師を招聘し、多くの子どもたちが集

き、多くの子どもたちが集められた。70名近い子どもが集まった時もあったという。また、パイオルカンを導入し、コンサートを通して地域の伝道を展開している。現在は、現任陪餐会員42名の群れとなっている。礼拝出席は、朝夕の礼拝を合わせ30名程である。

### 教団書記として

俊美牧師に、地方教会に仕えている者として教団書記の務めを担うことについての抱負を聞いた。書記に指名されたのは、驚きだった。しかし、開拓伝道の業に仕える中、常に他教会との協力を大切にし、地区、教区、教団を重んじて来たことを振り返りつつ、教団の働きに仕えられることは喜びであり、教員も応援

たのだから、キリスト教会では聖書がどのように語られているかを聞いてみたらどうか」との知人の勧めによって横手教会の門をたたき、主イエスと出会う。信仰を与えられた時が、献身の思いを与えられた時でもあったと言う。それは、珍しいことなのかもしないが、主イエス・キリストとの出会いとは即ち献身であり、ごく自然な成り行きだったのだそう。

神学校では旧約聖書を専攻。現在は教会の牧会と共に、原理問題にも取り組む。四国の教会で育った真理子牧師とは神学校時代に出会った。卒業したら「秋田

務だと言う。また、都市部以上に土地に根差した伝道を展開することが求められる。いのちの電話、大学での講師、ボランティア団体での講演、様々な委員等、活動の幅は広い。それらのつながりから教会を訪れる人も多いと言う。

地方の距離が生まれるのだろうか。教団の課題の深奥には、地方の問題(地方と都市の関係から来る問題と言っても良いだろう)が少なからずあると言う。地方の教会と都市の教会が益々良い関係を築き、更に豊かに主のご委託にえられるようになればとの願いは強い。そのためにも、信仰の一致を確立しつつ、伝道へ向けた協力関係を一層深められる教団になるよう仕えて行きたいと語る。



祈禱会、共に祈り、主にある交わりを深める

で」とは思っていなかったが、「地方で」というのは二人の暗黙の了解事項であっている。

伝道者として赴任した際、自分の中に伝道の進め方についての思いや計画があった。得意のギターを用いて青年伝道を試みたりもした。しかし、自分の思い通りに進んだことは殆どない。遣わされた土地で、教会を訪れる、様々な事柄や課題を負う人々と向かい合

う中で、自分では想像もしていなかったような形で用いられ、伝道が進められて行ったそう。

### 共に祈りを合わせつつ

教会では毎週木曜日の昼と夜に祈禱会が持たれている。昼の祈禱会に出席し、8名の出席者と共に御言葉に聞き、祈りを合わせた。祈りの中心は、日本基督教団が、主の体なる教会として、豊かに用いられて行くこと、そして、そのために仕える俊美牧師の働きが導かれることであった。小さな証しをする機会も与えら



▼誰もが一度や二度は「さかだち」をした経験を持っていると思う。控えめに

言っても、多くの人が何度も挑戦し、そして退けられている。その動機は、大抵健康問題にある。医者に勧められてという場合が殆どかも知れない。理屈では分かっている。体調不良の自覚があって、初めて、真剣に取り組むことになる。▼さて、覚悟を決めて、エイヤッとかけ声をかけても、最初からうまくはいかない。無理をしないで、少しずつ、少しずつ。三日坊主には終わらないこと、継続することが、肝要だ。一ヶ月二ヶ月と続けられたら、次第に確かな効果が現れる。▼しかし、効果が出た時が、大きな危機だ。とりあえずの目標を達成する、体重が減る、体調が良いとなると、最初の必死な思いが、萎えてしまう。そして、目標を喪失し、気が付いたら元の木阿弥ということさえ。リバウンドだ。▼その時に、何かしら新しい動機付けがあったら、非常に効果的だ。例えば、チャリティーマラソンのような考えだ。達成した数字に見合う金額を、災害被災者に献金するとか。誰かを応援することで、自分の応援団を作るのだ。▼ところで、逆立ちと酒断ちは、同音異義語だ。酒断ちも本来は断酒ではなく、何かしらの祈願のために行うものだった。



## 第 125 回 神奈川教区総会

### 北村慈郎氏の議員資格巡り議論集中

#### 岩崎隆議長再任



第 125 回神奈川教区総会  
会は 2 月 26 日、清水ヶ丘教会で開会時正議員 233 人中、172 人が出席して開催された。

冒頭の組織会で、北村慈郎氏が常置委員会推薦の推薦正議員となつて、何故推薦議員なのか。紅葉坂教会の欄を（未定）とするのでなく、北村氏（免職中）と書くべき。北村氏は紅葉坂教会から議員として推されている。（未定）は教団の処分を認めることになる。紅葉坂教会議員として登録すべき「原案の推薦正議員では〇印がなく信徒扱いとなっている。信徒ならこの教会信徒か」などの意見が続

いた。  
この中で、「北村氏を推薦正議員とする」「紅葉坂教会議員とする」の両案が動議として成立し、採決の結果、推薦正議員が投票総数 179 中、賛成 39、紅葉坂教会議員案が賛成 59 でともに少数否決となり、原案通り、北村氏の推薦正議員が決まった。

議論の流れで、他の 2 人の推薦正議員についても「推薦正議員とする」動議の投票が行われ、いずれも少数否決となった。議員資格を巡る組織会の論議で 4 回の採決を繰り返して、議事に入るのに 1 時間を要した。

按手札執行で、昨年度は 2011 年度予算案は、10 数年来のゼロ・シーリング、前年並み予算から前年度比 91 万 1 千円減の 5、8 10 万円の予算が原案通り可決承認された。

議長選挙は、予備選で最下位が 8 人同数となり、候補 12 人で本投票の結果、有効投票 174 中、91 票で岩崎隆氏（六ツ川）が再選。副議長選挙は、予備選で最下位 2 人同数の 6 人で本投票が行われたが、過半数獲得者が出ず、本投票 2 回目

で平良愛香氏（三・一）が 96 票で当選。正副議長の推薦を議長が承認して、書記には高橋博氏（新丸子）が選出され、教区 3 役は副議長、書記が入れ替わった。

常置委員選挙（教職信徒各 6）は、予備選で教職 15 人、信徒 14 人の候補が選出され、本投票が行われたが、時間切れ閉幕となり、3 月 8 日の常置委員会で確定し、諸教会へ結果を送付した。



5 名の按手札が執行された

### 組織・役割分担を決定、委員長に岸憲秀氏

#### 第 1 回教育委員会開催

2011 年 1 月 27 日、日本基督教団第 37 総会期第 1 回教育委員会が招集された。

教育委員会は教規 47 条に基づいて、宣教委員会のもとに置かれた常設専門委員会として、教会及び幼稚園におけるキリスト教教育の調査・企画、キリスト教教育主事の育成・指導に必要な事項、青年の指導に関する事項などを取り扱う。こ

れらが具体的に展開するため、多くのプログラムを行う委員会である。

第 37 総会期教育委員会は岸憲秀委員長（千葉本町）が招集者となり、次の各委員が招集された。

北畠友武（門司）、佐藤飛文（宣教協力学校協議会派遣）、清藤淳（和歌山）、塚本一正（信夫）、平田和子（吐田郷・信徒）、宮地健一（向日町）。

尚、担当幹事・野村和正、担当職員・草深茂雄。第 1 回委員会では、内藤留幸総幹事による挨拶、及び教育委員会の司る事項についての説明を受けた後、委員会組織を行う。委員長は、招集者の岸委員、書記は清藤委員とした。また教育委員会の活動を進めていくために、それぞれのプログラム担当者を選定した。協議事項の一つに、教会

学校応援セットの送付先の選定をする。これは教会学校の働きを教団として覚え、支えようと企画され、3 年目を迎える。それぞれ応募に基づいて、聖書、讃美歌、絵本や紙芝居などの教材、ヒムプレーヤーを、必要とする教会にプレゼントし、可能なかぎり委員による問答も行うこととしている。今回は 8 教会に送付することとした。

その他、委員会の活動として予定されているのは、教育主事認定試験の実施、教区青年担当者会、教会教育セミナー、宣教師との連絡会などがある。

さらに 2012 年夏には台湾基督教長老教会との青年交流プログラム「ユースミッション 2012」を予定している。これは台湾協約委員会と協力して、隔年で開催してきたもので、台湾と日本の青年を相互に派遣し次世代の伝道を担う青年の交流を図るプログラムである。今回は日本基督教団が受け入れ側となる。



後列左から、宮地、平田、野村（幹事）、草深（職員）、前列、左から清藤書記、岸委員長

### 第 36 総会期 第 6 回宣教師人事委員会

## 外国人教師が用いられる教会的筋道を



左から大村栄、田中弘志、岡村恒、棟居勇、Wayne Jansen（常時陪席宣教師）、稲松義人、加藤誠（幹事）

協議事項として、北米及びその他の地域からの宣教師の任期満了退任・任期継続・延長・海外渡航等、宣教師に関する人事事項を取り扱った。

3 月末に任期を満了して退任する宣教師が 4 名、その中には、10 年、20 年という長い期間にわたり宣教師として奉仕した先生方がいる。日本に福音を宣べ伝えるために、多くの時間を捧げて貰ったことを覚えて、心から感謝しつつ、退任を承認した。

今委員会では、外国人教師受け入れに関する方針をめぐって、多くの時間を割いて具体的に協議し、問題点を整理して次期委員会に申し送ることとした。

この背景には、本来の筋道とは異なるルートで教団の教会と接触する外国人教師が増え、実際に多様な仕方に関わりを持ち始めているという現状がある。そのため、実際に招聘手続が頓挫したり、ビザ取得が困難になるケースも生じている。

例えば、外国籍の神学生が学びを終え、日本基督教団の諸教会・伝道所から招聘を受けて教師として奉仕しようとするケースがある。日本滞在のためには、学生ビザから宗教ビザに変更しなければならない。しかし、その場合、宣教師には該当しないので、日本基督教団が宗教ビザ取得上の身元保証をすることは原則上できない。

日本伝道の健全な進展のために、外国人教師が用いられる教会的筋道が明確になるよう期待する。

受け入れ宣教師の働き、受け入れ教会、学校、施設の上に、主の豊かな祝福を祈る。

（岡村恒報）



## 「部落解放関東教区キャラバン」の成功を願って

### 第1回部落解放センター運営委員会

1月31日(月)～2月1日(火)、教団会議室において総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。

出席者は30名。組織がなされ、運営委員長に東谷

誠(大阪教区、書記に多田玲一(九州教区)が選出された。新しい運営委員が紹介され、毎回新しい運営委員が組織される度に確認してきた「運営委員の役割」が再確認された。常任運営

委員会、活動委員会が組織され、また活動委員会や各担当も同時に承認された。また、新しく会計監査を担当する駒木和男監事(大阪教区)が紹介され、2名の会計監査監事が承認された。

承認された。前回の四国キャラバンに続いて成功へと導かれるように決意を共有した。センターの活動の強化を

目指して、会計監査処理規程が承認され、さらに常任運営委員会のもとに「センター」見直し委員会が設置されることとなった。また、規約改正の件、第8回全国会議の報告の件などが前委員会から引き継がれた。

報告、NCCの報告などが報告が共有された。活動献金の献金状況が報告された。年度末に向けて目標額が満たされるよう共に力を合わせる事が確認された。

席上から提起され、「北村慈郎教師への戒規問題」について意見の交換をする場がもたれた。多くの委員から今回の戒規について反対の意見が出された。次回委員会は7月5日(火)～6日(水)に教団会議室で開催の予定。(多田玲一報)

## 東北学院学科改組後も「Bコース」認定

### 第36総会期第10回教師検定委員会

第36総会期第10回教師検定委員会が、1月24日(月)～25日(火)、教団会議室において、委員7名全員が出席して行われた。

まず委員長・事務局報告において、第37回教団総会における昨秋の教師検定試験合格者承認について、また2011年春季教師検定の日程と試験会場について、

次に、2011年春季教師検定試験の準備を、以下のように進めた。

①学科試験および面接試験の日程と試験会場について、説教・義経、神学論文等の採点結果を付き合わせ、合否判定、再提出等、それぞれを確定した。

②補教師受験志願者58名と正教師受験志願者15名の受験資格を、個別に照合した上で確認した。

③他教派からの教師転入志願者について、提出書類により資格を審査し、学科試験と論文課題を決定した。

④事前に提出された、説教・義経、神学論文等の採点結果を付き合わせ、合否判定、再提出等、それぞれを確定した。

⑤試験当日の学科試験問題を作成し、決定した。

⑥学科試験当日の委員の責任分担について相談し、確定した。

⑦受験費用援助に関して、申請書が提出された15件について検討し、承認した。

続いて、教師検定規則第4条変更に伴う試験実施の準備について確認し、2012年春季の該当する受験志願者に対し、各神学校において配慮ある指導をお願いする手紙を送付することとした。

最後に、東北学院大学学科改組(2011年4月)に伴うコース認定継続の申し出を受けて検討し、従来通り、いわゆる「Bコース」による受験として認定する方向を確認した。

春の試験は補教師試験の受験者が多数となる。試験を通して、神の召しが真剣に問われ、確認されることを願いつつ、主の導きと祝福を祈るものである。(東野尚志報)



新しい運営委員会の組織を記念して

定例の活動はこれまで通り継続されることが承認され、新しい予算が承認された。第11回全国会議の決算報告書の作成が承認された。次回の全国会議開催地選定は継続審議となった。

今年6月から7月にかけて関東教区で開催される「部落解放関東教区キャラバン2011」の計画が関東教区の全面的な支援を受けて順調に進められていることが報告された。また、次回各教区総会でキャラバングッズを販売する計画が

第36総会期第10回教師検定委員会が、1月24日(月)～25日(火)、教団会議室において、委員7名全員が出席して行われた。

まず委員長・事務局報告において、第37回教団総会における昨秋の教師検定試験合格者承認について、また2011年春季教師検定の日程と試験会場について、

次に、2011年春季教師検定試験の準備を、以下のように進めた。

①学科試験および面接試験の日程と試験会場について、説教・義経、神学論文等の採点結果を付き合わせ、合否判定、再提出等、それぞれを確定した。

②補教師受験志願者58名と正教師受験志願者15名の受験資格を、個別に照合した上で確認した。

③他教派からの教師転入志願者について、提出書類により資格を審査し、学科試験と論文課題を決定した。

④事前に提出された、説教・義経、神学論文等の採点結果を付き合わせ、合否判定、再提出等、それぞれを確定した。

⑤試験当日の学科試験問題を作成し、決定した。

⑥学科試験当日の委員の責任分担について相談し、確定した。

⑦受験費用援助に関して、申請書が提出された15件について検討し、承認した。

続いて、教師検定規則第4条変更に伴う試験実施の準備について確認し、2012年春季の該当する受験志願者に対し、各神学校において配慮ある指導をお願いする手紙を送付することとした。

最後に、東北学院大学学科改組(2011年4月)に伴うコース認定継続の申し出を受けて検討し、従来通り、いわゆる「Bコース」による受験として認定する方向を確認した。

春の試験は補教師試験の受験者が多数となる。試験を通して、神の召しが真剣に問われ、確認されることを願いつつ、主の導きと祝福を祈るものである。(東野尚志報)

### 西南支区 独立的な姿勢が強い中での協力

佐野 英二

西南支区は、渋谷区、港区(一部南支区)、世田谷区(一部南支区)の3区、44の活動教会から成り立っております。その内の10教会は幼稚園を併設しています。また支区内には、キリスト教主義の学校が、大学を含め3校あり、社会施設は4施設あります。

次に東京教区における各支区の現住陪餐会員数を%で見えます。(支区名:2003年度・5年後の2008年度の順です)

### 教区 コラム

西南支区の諸教会は、独立独行的な姿勢が強いと言えます。その中で「協力」し合う教会「土戸清牧師」W・マルク

とに着眼して、一昨年「西南支区教会フエスティバル」とにかく集ろう」を開催しました。また南支区とは港区と世田谷区で共有区になっていることもあり、両支

区に、性差別問題全国集会への参加報告、全国「同宗連」報告、NCCの報告などが報告が共有された。活動献金の献金状況が報告された。年度末に向けて目標額が満たされるよう共に力を合わせる事が確認された。

席上から提起され、「北村慈郎教師への戒規問題」について意見の交換をする場がもたれた。多くの委員から今回の戒規について反対の意見が出された。次回委員会は7月5日(火)～6日(水)に教団会議室で開催の予定。(多田玲一報)

最後に、東北学院大学学科改組(2011年4月)に伴うコース認定継続の申し出を受けて検討し、従来通り、いわゆる「Bコース」による受験として認定する方向を確認した。

春の試験は補教師試験の受験者が多数となる。試験を通して、神の召しが真剣に問われ、確認されることを願いつつ、主の導きと祝福を祈るものである。(東野尚志報)

最後に、東北学院大学学科改組(2011年4月)に伴うコース認定継続の申し出を受けて検討し、従来通り、いわゆる「Bコース」による受験として認定する方向を確認した。

春の試験は補教師試験の受験者が多数となる。試験を通して、神の召しが真剣に問われ、確認されることを願いつつ、主の導きと祝福を祈るものである。(東野尚志報)

最後に、東北学院大学学科改組(2011年4月)に伴うコース認定継続の申し出を受けて検討し、従来通り、いわゆる「Bコース」による受験として認定する方向を確認した。

### 消息

相原一博氏(波佐見伝道所)



主任担任教師

11年1月3日、逝去。60歳。福岡県に生まれる。76年関西学院大学院を卒業、

### 事務局報

正教師登録  
駒木 亮

浅場知教、新堀真之(2011・1・16受按)

橋口 望(2011・1・30受按)

教師異動  
銀座 就(担伊藤大輔

77年千里ニュータウン教会に赴任、北千里教会、福岡中部教会、大牟田正山町教会、広島キリスト教社会館を経て、'98年より波佐見伝道所を牧会した。遺族は妻・相原美智子さん。

(2010・11・23受按) 齋藤真行(2010・11・30受按)

(2010・12・5受按) 山口元氣

(2010・12・12受按) 鮎川健一

(2010・12・12受按) 浅場知教、新堀真之

(2011・1・16受按) 橋口 望

(2011・1・30受按) 教師異動

銀座 就(担伊藤大輔

(2010・11・23受按) 齋藤真行

(2010・11・30受按) 山口元氣

(2010・12・5受按) 鮎川健一

(2010・12・12受按) 浅場知教、新堀真之

(2011・1・16受按) 橋口 望

(2011・1・30受按) 教師異動

銀座 就(担伊藤大輔





▲会堂  
子どもクリスマスの光景  
教会員と共に

2001年4月、東京聖書学校を卒業し、伝道師として初めて赴任したのは、日本基督教団北九州復興教会でした。21世紀初めに晴れて伝道師としてのスタートをきり、この教会の出張伝道所である曽根集会所の担任教師として遣わされました。そこでの働きは、私にとって、聖書の見方、福音の見方を180度方向転換させる貴重な時間であったと感謝いたしております。

その3年間で、被差別部落出身の方や在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

私は、ホーリネスの流れの教会で育ち、純福音派と呼ばれる中で、「福音とは何か」ということを教えられました。その中ですばらしい敬虔な聖い信仰というものを見ることができました。理論的にはすばらしく、先人達の生き様を見るときに栄光の主を褒め称えました。現実の教会に教師として足を踏み入れたとき、実践においてイエス・キリストが目指された神の国とは何なのかを考えさせられ、その中で開拓伝道への思いが強くなってきました。

2003年9月、妻とお祈りしているときに、北海道の東側から7年の月日が経ちました。初めは、アパートからのスタートでしたが、一軒家の借りを心から願ひ求めます。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

私は、ホーリネスの流れの教会で育ち、純福音派と呼ばれる中で、「福音とは何か」ということを教えられました。その中ですばらしい敬虔な聖い信仰というものを見ることができました。理論的にはすばらしく、先人達の生き様を見るときに栄光の主を褒め称えました。現実の教会に教師として足を踏み入れたとき、実践においてイエス・キリストが目指された神の国とは何なのかを考えさせられ、その中で開拓伝道への思いが強くなってきました。

2003年9月、妻とお祈りしているときに、北海道の東側から7年の月日が経ちました。初めは、アパートからのスタートでしたが、一軒家の借りを心から願ひ求めます。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

NO  
SHOUMEI  
TOKI



## 網走開拓伝道の使命

神様は日本にすばらしいことを期待

森下 貴史(教団教師)

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

身の方が在日韓国人との出会いがあり、今でも、人権侵害を受け、義務は負うが権利は認められない世界が、豊かなこの日本にあることを身をもって教えられました。この経験が、イエス・キリストとの出会いであり、神が人になられたイエス・キリストの福音の隠された大きな柱ではないかと示されました。

### ❖ 教団ホームページ、ご存じですか？ ❖

URL [www.uccj.or.jp](http://www.uccj.or.jp)

2008 年 10 月より、日本基督教団公式サイトが正式稼働しています。  
※教団新報、教団ニュースレター  
毎号主要な記事を掲載しています。見出しから検索、バックナンバーもご覧になれます。

- ◇ 公募 ◇
- ①台湾基督長老教会での宣教体験プログラム  
アイラブ台湾  
《6月28日〜7月14日》
  - ※内容  
現地各教会の子供、青年向け夏期学校に参加する、要英語力、35才まで
  - ②ドレンデンでのドイツ・プロテスタント教会  
大会  
《6月1日〜5日》
  - ※2名まで、②の詳細は  
[www.kirchentag.de](http://www.kirchentag.de)
  - ①・②とも  
◎自己負担 往復旅費等  
◎応募期限 4月15日  
(必着、書類選考あり)  
◎問合先 世界宣教部  
(03-3202-1054)



鎌川 文子さん

## 信仰の灯を点し 続けよう



1940 年生まれ。民宿「かまかわ」。三宅島伝道所会員。

福島で生まれ、姉と共に教会学校に通い、受洗した。1966年、獣医師である夫の赴任に伴い、夫の郷里である三宅島に移る。

夫の両親が保阪松太郎牧師と親しく、その縁で教会生活を送ることとなった。6〜7人で守られていた伝道所だったが、若い母親のための会には15人も集まるなど、活動は盛んだった。

しかし次第に信徒が高齢化し、礼拝に来られなくなっていた。保阪牧師も本心に負って、私も今なら一人くらい支えられるのですけれど、当時は若くて、子どもも小さくて、力になれなかったんです」と語る。保阪牧師が隠退、無牧となった。会堂も老朽化、83年の噴火

「この1カ月で、車で3千キロ走りました」。岩手県沿岸地域にある教会の牧師の言葉である。

北海道には及ばないにしても、岩手県は広い。なんと四国四県がすっぽりと入ってしまう広さである。そこに18の教会が、まさに点在している。けれども、それらは決して「点」としては存在していない。それこそ1カ月で数千キロという距離を移動しながら(しかも雪道を)、相互に訪問し合い、集会に集うなどして伝道協力を推進している。これは奥羽3県(青森、岩手、秋田)において日常的

## 「一つなる教会」として

が創設された。その創設以来今日に至るまで、奥羽教区では「教区の教会性」ということが語り継がれ、「一つなる教会」としての教区形成が目指されている。つまり、「それぞれ個々

に存在している教会同士が支え合って伝道を推進しよう」というのではなく、「一つなる教会」として共に奥羽の全地域における伝道を推進しよう」ということである。実は、教団もこのようにあるべきではないかと思っている。教団は「公同教会(教憲前文、第1条)として「一つなる教会」である。各個教会が全体教会である教団の大切な肢体として、より一層祈り合い、支え合って、日本の各地域における伝道の進展のために力を合わせるべきではないかと思

っている。三宅島に百年前から灯が点っていることの不思議を感じます」。その灯を守り続けるために鎌川さんは奉仕し続けている。

に存在している教会同士が支え合って伝道を推進しよう」というのではなく、「一つなる教会」として共に奥羽の全地域における伝道を推進しよう」ということである。実は、教団もこのようにあるべきではないかと思っている。教団は「公同教会(教憲前文、第1条)として「一つなる教会」である。各個教会が全体教会である教団の大切な肢体として、より一層祈り合い、支え合って、日本の各地域における伝道の進展のために力を合わせるべきではないかと思